

自動印字貼付機+プリンターラベル導入事例

# 台紙不要で廃棄物削減を実現するノンセパ®ラベルを採用

アスクル株式会社様



## 導入経緯

アスクル様では、環境に配慮した物流プラットフォームの実現を目指し、CO<sub>2</sub>排出や廃棄物削減に取り組む中で、物流ラベルに着目。2025年6月稼働の関東DCでは、台紙のないノンセパラベルを採用し、木材使用量や焼却処理によるCO<sub>2</sub>排出の削減を図りました。さらに、ノンセパラベルに対応した専用の自動印字貼付機を導入し、環境配慮と効率的な物流運用の両立を目指しています。

## Before

- ・台紙付きラベルは、使用後に台紙が廃棄物として発生していた
- ・環境配慮と効率化を両立する新たなラベル運用を模索していた

## After

- ・台紙のないノンセパ®ラベルを採用。台紙廃棄ゼロにより、環境負荷を軽減
- ・NLR4000SR-Tをアスクル様仕様にカスタマイズし、印字貼り付けを効率化

台紙のないラベル **ノンセパ®**

+

ノンセパ®ラベル自動印字貼付機

タフアーム®

**NLR4000SR-T**シリーズ



Website



**ノンセパ®**とは

台紙のないラベルです。製造工程から台紙を使わないので、原料となる木材使用量を削減。さらに台紙の焼却処理も不要なので、CO<sub>2</sub>排出量削減にも貢献します。



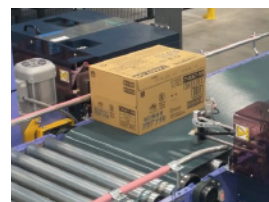
## お客さまの声

### ノンセパ®ラベルの採用でCO<sub>2</sub>排出量の低減に期待

アスクルでは、環境に配慮した物流センターづくりを進めています。関東DCでは、台紙のないノンセパラベルを採用することで、廃棄物や木材使用量を減らし、年間で剥離紙ゴミ排出分として約1,000kgのCO<sub>2</sub>排出削減を見込んでおります。ノンセパは、当社のサステナビリティの考え方にマッチした製品で、持続可能な物流の実現に向けた取り組みの一つです。今後はこうした取り組みを他の拠点にも広げ、全社的に環境負荷の低減を加速させていきたいと考えています。

※数値に関しては、株式会社サトーの参考測定値となります。

ロジスティクス本部 ロジスティクスプラットフォーム  
ロジスティクスエンジニアリング 瀬崎様



Video

本ソリューションによる  
1年間のCO<sub>2</sub>削減効果



削減するCO<sub>2</sub>の量

約 1.0 t/年



CO<sub>2</sub>を吸収するスギの本数

約 110 本分

●スギ1本あたり1年間に約8.8kgのCO<sub>2</sub>を吸収（出典：林野庁）  
 ●CO<sub>2</sub>排出削減貢献量につきましては、総労働時間の変化と産業ごとの係数を基に算出した推計値です。実際のCO<sub>2</sub>削減量を保証するものではありません。ソリューションの製造時や機器使用時の消費エネルギー等は算定対象外です。●株式会社サトーで算出した参考測定値です。

株式会社サトー [www.sato.co.jp](http://www.sato.co.jp)

お問い合わせ先 ☎ 0120-226310 受付時間：24 時間 365 日

全国の営業拠点一覧はこちらへアクセスしてください

■記載内容は2025年9月現在のものです。  
 ■製品改良のため断りなく仕様を変更することがありますのでご了承ください。  
 ■いかなる形式でも本誌の一部または全部の複製および無断転載をお断り致します。  
 ■記載されている会社名、ソフトウェア名、製品名などは各社の商標、または登録商標です。

